



たった一つのお願い「やさしい人になる」

本校の教育目標は、「ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生き抜く子どもの育成」です。この目標は、御船小学校が長年掲げてきたものです。

今年度は、その文言こそ変わりませんが、わたしはそこに、「優しい人になる」という願いを込めました。

例えば、入学式で、新1年生の61名の子どもたちに次のように話しました。

（前略）さて、今から、入学に当たって、校長先生から皆さんに一つだけお願いをします。ちょっと難しいかもしれませんが、いやいや、もうできているという人もいるかもしれませんが、しっかり聞いてください。

それは、「やさしい人になる」ということです。

「やさしい人になる」と、お友達がたくさんできます。

「やさしい人になる」と、お勉強もできます。

「やさしい人」は、先生やお友達の話を一生懸命聞こうとするからです。

「やさしい人」は、おうちの人や地域の人を大切にできます。

おうちの人や地域の人が困ったり、悲しんだりすることが嫌だからです。

おうちの人や地域の人が喜ぶことを進んでしようとするからです。

でも、「やさしい人になる」ということは、とても難しいことです。

実は、校長先生も「やさしい人」になることを、今も目指しています。

「やさしい人になる」。

校長先生からの、一つだけのお願いです。



実は、「やさしい人になる」ということは、始業式で2年生から6年生までにお願ひしたことです。

登校班で登校してくる様子を、正門まで見に行きました。

すると、1年生の手をつないで歩く上級生の姿を何度も目にしました。車の通る側を意識して歩く上級生の姿も目にしました。1年生も安心して登校していました。やさしい上級生だなと思いました。



正門で交通指導をしてくださっている方ともお話しできました。子供たちが事故などに遭わないように立ってくださっている、とてもやさしい方でした。

御船小では、やさしい地域の方々や保護者の方々の中で、やさしい子どもたちが育っているなと思いました。